

<2017 夏休み おやこ研究員募集!>

6-9 歳児のお子さんと保護者の方とのコミュニケーションに関する調査に協力してくださる方を募集しています!

九州大学教育学部発達心理学 I 教室では、この夏休み期間中（8月2日から13日）に、カナダ・アルバータ大学（増田貴彦准教授）との共同研究として、親子のコミュニケーションと子どもの言葉の発達の関係を明らかにするために『アニメーション画像を用いた学童期児童と保護者とのコミュニケーション』に関する調査を予定しています。

お子様と保護者の皆さまに、こども達の表情が描かれたアニメ絵を見ていただき、画面中のこどもがどんな気持ちでいるか判断し、その理由を説明していただくという調査です。親子での参加をお願いします。親子の自然なコミュニケーションを調査することにより、子供さんが親のものの見方をどのように学んでいくのか、人の感情をどのように理解していくのかの一端を明らかにしたいと考えています。

九州大学馬出キャンパス（東区馬出）の調査室においていただき、所要時間は休憩をはさみながら2時間程度の調査となります。アルバータ大学からも調査担当者が来日します。夏休みも控えたこの時期、大変お忙しい中誠に恐縮ですが、裏面をお読みいただいた上でぜひ参加をご検討ください！お待ちしております。



九州大学大学院 人間環境学研究院	准教授 橋彌和秀
アルバータ大学 心理学部	准教授 増田貴彦
〒812-8151 福岡市東区箱崎 6-19-1	babykyushu@yahoo.co.jp

調査の内容・お願いしたいことについて

募集対象：小学校2・3・4年生（満6歳6か月から9歳6か月のお子様）と保護者の方

（各学年10組、計30組を予定しています）。

調査テーマ：「アニメーション画像を用いた学童期児童と保護者とのコミュニケーションの研究」

実施期間：8月2日（水）～8月13日（日）

調査場所：九州大学馬出キャンパス（福岡市東区馬出 九大病院地区）

コラポステーションⅡ 303号室（「九州大学 赤ちゃん研究員」調査室）

所要時間：2時間（場面に慣れていただく時間も含めて2時間以内に終了します）。

謝礼：1回 5,000円（交通費込み）。

調査代表者：九州大学大学院 人間環境学研究院 准教授 橋彌和秀
アルバータ大学 心理学部 准教授 増田貴彦

実施内容：こども達の表情が描かれたアニメを見ていただきます。そして、その子がどんな気持ちでいるか判断し、その理由を説明していただきます。セッションは全部で4回で、1回目は保護者の方のみ、2回目と4回目はお子様のみ、3回目は保護者の方とお子様で共同で参加していただきます。課題を始める前に、お子様は語彙クイズに参加していただきます。また、お子様が課題をやっている最中の待ち時間では、保護者の方に質問紙に答えていただきます。4つの物語をお子さまに聞いていただき、いくつかの質問をいたします。調査の様子はビデオで撮影させていただき、ご回答中の様子や会話を分析します。

■調査はアメリカ心理学会（APA）・日本心理学会の倫理規定に従っておこない、お子様・保保護者の方に身体的・心理的ご負担をかけることはございません。調査中であっても、お申し出があった場合は無条件で調査は中止いたします。プライバシー情報管理も厳密におこない、調査により得られた個人情報および映像データについては厳重な管理を行い、研究以外の目的で使用することはございません。また、得られた結果は統計的に処理され、匿名化して扱われるため、個人が特定されることはございません。

ご協力をご検討いただける場合には、大変お手数ですが、下記までご連絡をいただけますよう、よろしく願いいたします（電話、メール等）。折り返し担当者より日程の調整をさせていただきます。ご不明な点がございましたらお気軽にご連絡ください。

九州大学教育学部 発達心理学第Ⅰ研究室

○メールアドレス：babykyushu@yahoo.co.jp

○下記HP上の「お問い合わせフォーム」からご連絡いただくこともできます。

<http://www.babykyushu.org/map>

調査代表者：橋彌和秀（担当：谷美樹子）

連絡先：〒812-8151 福岡市東区箱崎6-19-1

Tel：092-642-3143（火木 10:30-17:30 金 10:00-17:00 には担当者が在席しております）